

| | | | | | | | |
|--|------|----|-------------|--------------------------|--|---|-----------|
| 所属 | 中国学科 | 職名 | 准教授 | 氏名 | 櫻井次郎 | 大学院における研究指導担当資格の有無 | (有) |
| Ⅰ 教育活動 | | | | | | | |
| 教育実践上の主な業績 | | | | 年月日 | | 概 要 | |
| 1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む） | | | | 2016 年 4 月 2016 年 4 月 | | 書き込み式のプリントを配布し、受講生の集中力と理解度を高めるよう工夫している。最新の新聞・雑誌記事を教材として取り入れ、受講生が中国語の学習とともに現在の中国社会・政治・経済に関する知識を広げ、関心を深めるよう努めている。 | |
| 2 作成した教科書、教材、参考書 | | | | 2016 年 4 月 | | 講義で使用する書き込み式のプリント。 | |
| 3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 | | | | | | | |
| 4 その他教育活動上特記すべき事項 | | | | | | | |
| Ⅱ 研究活動 | | | | | | | |
| 著書・論文等の 名 称 | | | 単著・共 著の別 | 発行または発表の年 月（西暦でも可） | 発行所、発表雑誌 （及び巻・号数）等の名称 | 編者・著者名 （共著の場合のみ記入） | 該当頁数 |
| 著書 | | | | | | | |
| Environmental Policy and Governance in China | | | 共著 | 2017 年 | Springer | Hideki Kitagawa 編 | 109-126 頁 |
| 東アジアのエネルギー・環境政策——原子力発電/地球温暖化/大気・水質保全 | | | 共著 | 2014 年 | 昭和堂 | 李秀澈編著 | 160-177 頁 |
| 中国の環境法政策とガバナンス—執行の現状と課題— | | | 共著 | 2012 年 | 晃洋書房 | 北川秀樹編著 | 79-103 頁 |
| 論文 | | | | | | | |
| 中国の洋上風力発電に係る環境影響評価 | | | 単著 | 2016 年 | 『平成 27 年度 諸外国における環境法制に共通的に存在する基本問題の収集分析業務報告書』（環境省請負調査） | | 185-198 頁 |

| | | | | | |
|---|---|--------|-------------------|---------------|-----------|
| 中国の公害環境訴訟 | 単著 | 2014 年 | 『環境法研究』2 号 | | 169-192 頁 |
| 中国における環境公害被害者救済の阻害要因 についての一考察—「不立案」問題を中心に— | 単著 | 2014 年 | 『神戸外大論叢』64 巻 4 号 | | 97-108 頁 |
| 中国における大気汚染対策と北京市の取組み | 単著 | 2013 年 | 『環境と公害』43 巻 1 号 | 櫻井次郎・知足章宏 | 51-55 頁 |
| 中国における廃電気電子機器政策——現状と課題 | 共著 | 2012 年 | 『中国研究月報』66 巻 12 号 | 知足章宏・櫻井次郎・羅星仁 | 21-33 頁 |
| | | | | | |
| | | | | | |
| Ⅲ 学会等および社会における主な活動 | | | | | |
| 日本現代中国学会全国大会 | 研究報告「環境訴訟を通じた参加への期待とその限界」（2016 年 10 月 30 日、慶応大学） | | | | |
| 日本環境学会全国大会 | 研究報告「中国の環境問題をめぐる司法の動向と課題」（2015 年 6 月 21 日、龍谷大学） | | | | |
| 日中国際比較法ワークショップ | 研究報告「日本における現代中国法研究」（中国語）『比較東アジア法の方法を考える』（2014 年 8 月 4 日上海、華東政法大学） | | | | |
| 日本現代中国学会関西部会大会 | 研究報告「中国における環境公益訴訟の試みとその限界」（2013 年 6 月 8 日、龍谷大学） | | | | |